

## 宣誓

本日は大変お忙しい中、新入職員歓迎式を開催して頂きまして、誠にありがとうございます。児玉理事長をはじめ、多くの方々のご臨席を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

本日、同期の仲間と共に原子力機構の一員として迎えていただけたことを心から感謝し、大変嬉しく思っております。児玉理事長から温かい励ましのお言葉を頂き、深く感銘を受けるとともに、原子力機構の職員となる実感が湧き、身が引き締まる思いです。

先月の3月11日で東日本大震災から9年経ちました。原子力機構では福島第一発電所事故の対処を始めとした原子力に係る研究で多くの成果をあげております。

昨年、「将来ビジョン JAEA2050+」が発表されました。これは2050年を見据えて、原子力機構が社会貢献するために何を目指し、何をすべきかを取りまとめたものです。原子力の秘めているポテンシャルを安全に活用する「新原子力」が当たり前になる未来を実現することが私達の社会貢献になります。若い世代がこのビジョンを共有することでさらなる成果につながると思います。

私の採用テーマは高温ガス炉の熱を利用した水素製造 IS プロセスに関する研究です。水素は化石エネルギーに代わるエネルギーとして注目されています。私の所属していた研究室で共同研究が行われていました。共同研究は終了いたしましたが、私は魅力的な水素製造方法が実現することを待つより実現させたいと思い、今日ここに立っております。ここにいる同期もそれぞれの志を持ってここに並んでいると思います。

今日から原子力機構の職員の一員となりますが、先輩職員の皆様にご迷惑をおかけするかもしれません。その際にはご指導ご鞭撻のほどをお願いいたします。

これまで研究に携わってこられた方々から託された襷をしっかりと受け継ぎ、それぞれの志を胸に精進し続けることをここに誓います。

令和2年4月1日  
新入職員代表 杉本千紘